



## CHAPTER 22

# Cisco Unity Connection 9.x における不達確認に関するトラブルシューティング

次の項を参照してください。

- 「Cisco Unity Connection 9.x における不達確認に関するトラブルシューティング」 (P.22-72)
- 「Cisco Unity Connection 9.x の不達確認のステータス コード」 (P.22-72)

## Cisco Unity Connection 9.x における不達確認に関するトラブルシューティング

障害が、送信者、受信者、または Cisco Unity Connection サーバのいずれで発生しているかを確認してください。より多くの情報を収集するには、別のユーザから受信者にボイス メッセージを送信します。さらに、元の送信者から別のユーザにボイス メッセージを送信してください。

## Cisco Unity Connection 9.x の不達確認のステータス コード

不達確認 (NDR) を調べるときは、3 桁のコード (たとえば、4.2.2) を探してください。

一般的に、1 桁目はコードのクラスを表します。4.x.x は一時的な障害で、再送信が成功する可能性があります。5.x.x は永続的なエラーです。

詳細な分析および SMTP の一連の標準エラーは、RFC 1893 「Enhanced Mail System Status Codes」で参照できます。

Cisco Unity Connection のステータス コードには、次の意味があります。

- 4.0.0 : 原因不明のエラー (接続の問題など) で Connection が別の SMTP サーバと通信できなかった。
- 4.0.1 : SMTP サーバへの接続でエラーが発生した。
- 4.0.2 : 原因不明のエラー (接続の問題など) で Connection が別の SMTP サーバと通信できなかった。
- 4.2.1 : 受信者のメールボックスがマウントされていない。
- 4.2.2 : 受信者のメールボックスが、管理者によって設定された割り当てクォータを超えている。
- 4.2.4 : メッセージの有効な受信者が存在しない。

- 4.3.2 : 受信者が配置されたメッセージストアがマウントされていない。
- 5.1.1 : 受信者のアドレスが存在しない、または正しくない可能性があるために、受信者のメールボックスを解決できない。
- 5.2.0 : 不明なエラー状態が存在し、Connection がメッセージを処理できない。
- 5.4.4 : Connection の VPIM 設定にエラーがある。
- 5.5.4 : SMTP サーバとの接続で永続的なエラーが発生した。
- 5.6.5 : Connection メッセージから VPIM メッセージへの変換に失敗した。
- 5.7.1 : ユーザがプライベートメッセージを連絡先に送信しようとしたが、その操作はサポートされていない。
- 5.7.2 : 同報リストの拡大中にエラーが発生した。
- 5.7.3 : ユーザが安全なメッセージを連絡先に送信しようとしたが、その操作はサポートされていない。
- 5.3.10 : ファクスメッセージが失敗した。



(注)

---

コード 2.0.0 は成功を示しています。このステータスコードは、配信確認と開封受信確認には含まれますが、NDR には含まれません。

---